



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月27日

上場会社名 SMK株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6798 URL <https://www.smk.co.jp/ja>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 靖光  
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 (氏名) 北平 至 (TEL) 03(3785)1111  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	35,187	1.6	472	—	1,122	△4.9	738	8.5
2025年3月期第3四半期	34,630	1.1	△75	—	1,180	—	680	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,149百万円(310.8%) 2025年3月期第3四半期 523百万円(152.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	116.62	—
2025年3月期第3四半期	107.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	57,983	30,481	52.6
2025年3月期	57,684	29,221	50.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 30,481百万円 2025年3月期 29,221百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	90.00	140.00
2026年3月期	—	50.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△4.3	500	—	1,000	82.0	600	—	94.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	7,200,000株	2025年3月期	7,200,000株
2026年3月期3Q	870,971株	2025年3月期	863,954株
2026年3月期3Q	6,332,763株	2025年3月期3Q	6,338,304株

(注) 自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
3. 補足情報 .....	9
受注及び販売の状況(市場別) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2035年長期ビジョン「あらゆるニーズを実現する“ものづくり力”で、次の100年に貢献する」の実現に向けた最初のマイルストーンとして、2025年3月期から2027年3月期を対象期間とした中期経営計画「SMK Next100」を策定しました。本計画期間を「持続的成長に向けた構造改革を加速させる期間」と位置づけ、売上・利益の成長軌道への回帰に向けた資源投下とコスト構造改革、製販一体体制への移行など、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。しかし、足許の状況としては、CS事業は情報通信市場の競争激化等の影響を受け低成長にとどまり、SC事業は欧米の家電市場の伸び悩み等の影響により低迷が続いています。また、イノベーションセンターは新製品開発・新規ビジネス化の遅れにより赤字が継続しております。

当社ではこのような現状を踏まえ、2025年3月25日に公表した通り、構造改革のさらなる加速に向け、「構造改革プログラム」を策定し取り組みを推進しております。不採算事業の撤退・縮小を進め、成長性や採算性の高い分野へリソースを集中配分するとともに、人員数や人材ポートフォリオの最適化、規模適正化を進めるなどコスト構造を見直すことで、成長軌道への回帰を加速させ、長期ビジョンならびに中期経営計画で掲げた目標の実現を目指してまいります。

当第3四半期累計期間における世界経済は、米国経済の底堅さを背景に概ね安定した動きとなりました。一方、米国の関税政策に伴う景気下押し懸念、ウクライナ紛争の長期化や中東情勢等の地政学リスクの継続、中国経済の低迷など、経済の先行きに対する不透明感が高まっております。また、これらの要因や日米金利差を背景にドル円為替相場も円安で推移する状況が続いております。

当電子部品業界におきましては、市況全体としては緩やかな回復基調となりました。車載市場では、世界的な自動車販売の減速やEVの失速により停滞感が見られました。情報通信市場では、スマートフォン、タブレットは緩やかな回復傾向は見られるものの全体としては低調な状況が続きました。一方、AIサーバー/データセンター関連分野は引き続き拡大しました。家電市場では、ゲーム関連は好調に推移し、エアコンなどの大型家電も堅調に推移しました。産機市場においては、在庫水準が徐々に適正化しつつあり、回復の兆しが見え始めました。

当第3四半期累計期間においては、CS事業は車載、家電、産機市場が好調に推移しましたが、情報通信市場が低調で前年と同水準となりました。SC事業は、情報通信市場が前年を割り込みましたが、家電、車載、産機市場が好調で前年を上回りました。この結果、売上高は351億8千7百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は4億7千2百万円(前年同期は営業損失7千5百万円)となりました。経常利益は11億2千2百万円(前年同期比4.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億3千8百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### (CS事業部)

車載市場では、カメラ関連や電装関連が堅調だったのに加え、バッテリー関連や2輪車向けが拡大し、前年を上回る結果となりました。家電市場は、アミューズメント関連の拡大により前年を上回り、産機市場も再生可能エネルギー関連の好調を受けて前年を上回りました。一方、情報通信市場では、スマートフォン向けが減少し前年を下回る結果となりました。

これらの結果、CS事業全体では売上高は前年と同水準の169億3百万円(前年同期比0.4%増)に、営業利益は10億2千7百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

#### (SC事業部)

家電市場では、リモコンにおいてサニタリー用・エアコン用・スマート家電用が好調でしたが、住設用は前年を割り込み、全体として前年並みとなりました。一方、車載市場では車両用カメラモジュールや操作ユニット、E-Bike用操作ユニット、スイッチが好調で前年を上回りました。

これらの結果、SC事業全体では前年を上回る水準となり、売上高は182億6千1百万円(前年同期比3.6%増)、営業損失は2億2千万円(前年同期は営業損失10億3千6百万円)となりました。

## (イノベーションセンター)

イノベーションセンターではコスト管理強化の取り組みとして事業の選択と集中を進めており、「音声によるあたまの健康度分析技術」と「筋電センサー」の2事業にリソースを集中することとしましたが、事業化が遅れております。一方、これまでの主力ビジネスであった通信モジュール事業については、全社的な効率性を考慮し、2025年6月よりS C I事業部へ移管しました。

この結果、当事業の売上高は2千2百万円(前年同期比86.1%減)、営業損失は3億3千4百万円(前年同期は営業損失3億5千6百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し、322億5千6百万円となりました。これは、売掛金が18億7千7百万円減少し、現金及び預金が8億7百万円増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、257億2千7百万円となりました。これは、投資その他の資産が10億8千4百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、579億8千3百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.3%減少し、155億9千1百万円となりました。これは、短期借入金が9億円、未払金が4億6千6百万円それぞれ減少し、支払手形及び買掛金が2億4千5百万円増加したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、119億1千1百万円となりました。これは、長期借入金が3億9千万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、275億2百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.3%増加し、304億8千1百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が11億9千万円増加したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日公表のとおりであり、変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,475	11,282
受取手形	4	3
電子記録債権	2,710	2,578
売掛金	11,221	9,344
商品及び製品	2,909	3,204
仕掛品	517	671
原材料及び貯蔵品	4,246	3,981
その他	1,151	1,251
貸倒引当金	△85	△60
流動資産合計	33,149	32,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,151	4,049
土地	5,819	5,819
その他（純額）	4,783	4,933
有形固定資産合計	14,754	14,802
無形固定資産		
その他	202	262
無形固定資産合計	202	262
投資その他の資産		
その他	9,672	10,777
貸倒引当金	△94	△115
投資その他の資産合計	9,578	10,662
固定資産合計	24,535	25,727
資産合計	57,684	57,983

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,206	3,451
電子記録債務	1,005	972
短期借入金	7,040	6,140
未払金	2,690	2,224
未払法人税等	198	135
賞与引当金	581	548
役員賞与引当金	3	—
買付契約評価引当金	6	—
その他	1,915	2,118
流動負債合計	16,647	15,591
固定負債		
長期借入金	7,282	7,672
役員退職慰労引当金	124	123
退職給付に係る負債	297	290
役員株式給付引当金	24	41
その他	4,086	3,782
固定負債合計	11,815	11,911
負債合計	28,462	27,502
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,996	7,996
資本剰余金	12,057	12,057
利益剰余金	10,731	10,577
自己株式	△3,032	△3,029
株主資本合計	27,752	27,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	969	1,445
繰延ヘッジ損益	16	69
為替換算調整勘定	△812	378
退職給付に係る調整累計額	1,296	985
その他の包括利益累計額合計	1,469	2,879
純資産合計	29,221	30,481
負債純資産合計	57,684	57,983

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	34,630	35,187
売上原価	27,714	27,989
売上総利益	6,915	7,198
販売費及び一般管理費	6,991	6,725
営業利益又は営業損失(△)	△75	472
営業外収益		
受取利息	121	92
受取配当金	48	58
不動産賃貸料	766	789
為替差益	733	33
その他	195	342
営業外収益合計	1,864	1,317
営業外費用		
支払利息	154	184
不動産賃貸原価	426	451
その他	27	30
営業外費用合計	608	666
経常利益	1,180	1,122
特別利益		
固定資産売却益	6	1
投資有価証券売却益	—	7
特別利益合計	6	8
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	48	46
減損損失	80	—
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	132	47
税金等調整前四半期純利益	1,055	1,084
法人税、住民税及び事業税	233	370
法人税等調整額	140	△24
法人税等合計	374	345
四半期純利益	680	738
親会社株主に帰属する四半期純利益	680	738



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	680	738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	476
繰延ヘッジ損益	40	53
為替換算調整勘定	139	1,190
退職給付に係る調整額	△242	△310
その他の包括利益合計	△157	1,410
四半期包括利益	523	2,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	523	2,149

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				四半期連結 損益計算書 計上額
	C S 事業部	S C I 事業部	イノベーション センター	計	
売上高					
外部顧客への売上高	16,841	17,624	163	34,630	34,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,841	17,624	163	34,630	34,630
セグメント利益又は損失(△) (営業損失)	1,318	△1,036	△356	△75	△75

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				四半期連結 損益計算書 計上額
	C S 事業部	S C I 事業部	イノベーション センター	計	
売上高					
外部顧客への売上高	16,903	18,261	22	35,187	35,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,903	18,261	22	35,187	35,187
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	1,027	△220	△334	472	472

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,745百万円	1,732百万円

## 3. 補足情報

受注及び販売の状況(市場別)

## ①受注実績

(単位：百万円、%)

市場別	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
情報通信	5,010	14.3	4,483	12.6	△527	△10.5
家電	14,989	42.9	14,850	41.7	△138	△0.9
車載	11,247	32.2	12,292	34.5	1,044	9.3
産機・その他	3,713	10.6	3,995	11.2	281	7.6
合計	34,961	100.0	35,621	100.0	660	1.9

市場別	(参考)前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
	金額	構成比
情報通信	6,552	13.9
家電	19,745	41.8
車載	16,242	34.4
産機・その他	4,675	9.9
合計	47,215	100.0

## ②販売実績

(単位：百万円、%)

市場別	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
情報通信	5,503	15.9	4,576	13.0	△926	△16.8
家電	14,647	42.3	14,782	42.0	134	0.9
車載	10,911	31.5	12,220	34.7	1,309	12.0
産機・その他	3,567	10.3	3,607	10.3	39	1.1
合計	34,630	100.0	35,187	100.0	557	1.6

市場別	(参考)前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
	金額	構成比
情報通信	6,949	14.5
家電	19,820	41.2
車載	16,100	33.5
産機・その他	5,180	10.8
合計	48,051	100.0